

KBC SHIMRIN KANDY BASECOATS

一般情報

Kandy ベースコート (KBC) は Kandy 及びパール材が入った SHIMRIN ユニバーサルベースコートで、UK Kandy と同じようなフィニッシュが得られる塗料です。コーティング回数が少なくて済み、塗装やタッチアップ、修繕も非常に簡単です。

Kandy と同様に多数の色を揃えています。また Kandy ベースコートの上にアクリルラッカーかウレタンエナメルのもちでも乗せることが出来ます。ただし一度システム (アクリルラッカーかウレタンエナメル) が決まれば、そのシステムのみお使いください。

Kandy ベースコートの後にアクリルラッカーとウレタンエナメルの両方を使うことは避けてください。

KBC に関する大事な情報

次にリストされている KBC は、上から乗せるアートワークににじむ場合があります。アートワークを乗せる前に当社の Bleed Check Sealer SBS-10 をお使いください。Bleed Check Sealer については Tech Sheet を参照願います。

上記の KBC は：KBC-03、KBC-05、KBC-06、KBC-10、KBC-13 です。

KBC-18(Pink) に関する大事な情報

KBC-18 Kandy ベースコート Pink は日射に弱いのでご注意ください。ショーカーといった常に日射にさらされないような環境でお使いください。

1. 準備

まず塗装を始める前に Tech Prep をよくお読みください。SHIMRIN Kandy ベースコートはプラスチックフィラーやバテ、ファイバーグラス樹脂、プライマー等による染みやにじみが出やすい製品です。このような問題を避けるためにボディーまで削り落とし (もしくは OEM プライマーまで)、KP-2CF Kwikure Epoxy Primer か KP-32 Kwikure Epoxy Primer をご使用ください。

KP Primer については Tech Sheet を参照願います。

注： KBC の多くはにじみやすい塗料です。必ず UC-1 クリアか UC-35 クリアを2コート of せて12時間乾燥させるか、UFC-35 フロークリアか UFC-19 コズミッククリアを2コート of せて24時間乾燥させてください。その後500番のウェットでペーパーがけをしてからアートワークを始めてください。

2. グラウンドコート

- プライマー (KP-2FC、KP-21)
- Sealer (KO-SEAL II)

ベースコートを塗装する前に車体は単一の色でなければいけません。プライマーかシーラーをグラウンドコートとしてご利用いただくことは可能です。

注： シーラーは不十分に準備された下地による変色やにじみを防ぐ物ではありません。シーラーの主な目的はトップコートの乗りを良くし、車体を同じ色にするのが目的です。

3. ベースカラー

BC-25 (Black) といった当社の SHIMRIN ベースをベースカラーとしてお使いください。ベースカラーの色によって最終的にできあがる色が変わってきます。ベースカラーが薄い色の場合、色がまだらになることがあるのでご注意ください。乾燥時間を守り、ガンのトリガーはフルに開けずに、対象面からガンまでの距離が5インチで試し噴きしてパターン幅が約5インチであることを確認の上、75%の重複パターンで塗装してください。

4. SHIMRIN の希釈

SHIMRIN Kandy ベースコートをよく混ぜてください。50%で希釈して (塗料が2に対しリデューサーが1の比率)、よく混ぜてください。希釈の際には必ず当社の Kosmic リデューサーをお使いください。また作業場の温度に合わせてリデューサーを選択してください。リデューサーについては Tech Sheet を参照願います。



KBC SHIMRIN KANDY BASECOATS

5. SHIMRIN Kandy ベースコートの塗装

ストレーナーを通して塗料をガンに入れてください。ガンの空気圧は 45 ~ 55psi、HVLP の場合はノズルで 10psi に設定してください。ガンの距離を約 6 インチに保ち、75%の重複パターンで 3 ~ 5 回コーティングしてください。大きな物の場合は歩きながら全体を塗装し、コーティングの間に十分な乾燥時間を取ってください。Kandy ベースは乾燥するとフラットな色になります。SHIMRIN 乾燥確認方法 - 全ての SHIMRIN は乾燥するとフラットな色になって触っても乾燥しています。Kandy もしくはクリアを塗装する前に十分な乾燥時間を取ってください。通常 15 分 ~ 30 分ですが、12 時間以上放置しないようにしてください。KBC の上にアートワークを施す場合は 12 時間以内に願います。

6. アートワークとクリア

SHIMRIN Kandy ベースコートはアートワーク用としても最適な塗料です。最後の Kandy ベースコートが完全に乾燥したことを確認の上、ミディアムコートで 2 ~ 3 回クリアをコーティングしてください（ウレタンエナメルの場合 UC-1、UC-35、UFC-19、もしくは UFC-35。アクリルラッカーの場合は C-1 Kustom クリアで）。クリアをかけることにより、テーピング等から SHIMRIN ベースを守ります。

KBC に関する大事な情報

次にリストされている KBC は、その上に施されるアートワークにしみやすいのでご注意ください。Bleed Check Sealer をお使いください。Bleed Check Sealer については Tech Sheet を参照願います。2 液性クリアでも浸みを止めることはできません。にじみの出やすい KBC は： KBC-03、KBC-05、KBC-06、KBC-10、KBC-13 です。その他の KBC については、その上に施すアートワークに滲まないようにするために Kosmic クリアをお使いください。UC-1 か UC-35 の場合は 12 時間乾燥させ、UFC-19 か UFC-35 の場合は 24 時間乾燥させてください。

7. クリアコート

SHIMRIN Kandy ベースコートは全てクリアコートをする必要があります（ウレタンエナメルかアクリルラッカーのどちらかで）。ベースコートの後にウレタンエナメルかアクリルラッカーのどちらかを選んだ後は、同じシステムをお使いください。クリアは必ず House of Kolor 製のものをご利用ください。クリアコートにつきましては Tech Sheet を参照願います。

その他の情報

SHIMRIN Kandy ベースコートは他の色と混ぜ合わすことにより無限大の色を作り出すことができます。

